

# SDGs って何だろう

## ～これからを生きる子どもたちのために明るい未来を～

### I はじめに

SDGs という言葉は聞いたことがあるけれど、具体的な内容は分からない・・・という方も多いのではないだろうか。

今、世界で貧困・人種差別・環境破壊など、様々な問題に直面している中、小学校や教育番組では取り組んでいるのに、保育現場では SDGs がどのようなものなのか理解している保育者が少ないのではないかと感じた。

そこで、まずは私たち保育者が学び、SDGs という大きな目標を保育の中で、どう子どもたちが理解できるようにしていくか、それぞれの園で研究を進めていくことにした。

### II 方法

- (1) 研究期間 令和3年9月～令和4年9月
- (2) 方法 研究テーマについての話し合い  
現状把握（保育士へのアンケート）  
勉強会  
実践及び事例検討  
研究のまとめ

### Ⅲ 経過

#### 《令和3年度》

- 9月 研究内容検討
- 10月 研究テーマ決定→SDGsについて
- 11月 SDGs勉強会・アンケート内容の検討、作成
- 12月 アンケート結果報告・実践をするにあたっての担当決め

#### 《令和4年度》

- 3月 実践の経過報告
- 4月 実践の経過報告
- 6月 実践の経過報告・研究のまとめ・資料作成
- 7月 実践の感想
- 8月 研究のまとめ
- 9月 研究のまとめ
- 10月 研究のまとめ
- 11月 研究のまとめ

## IV 結果と考察

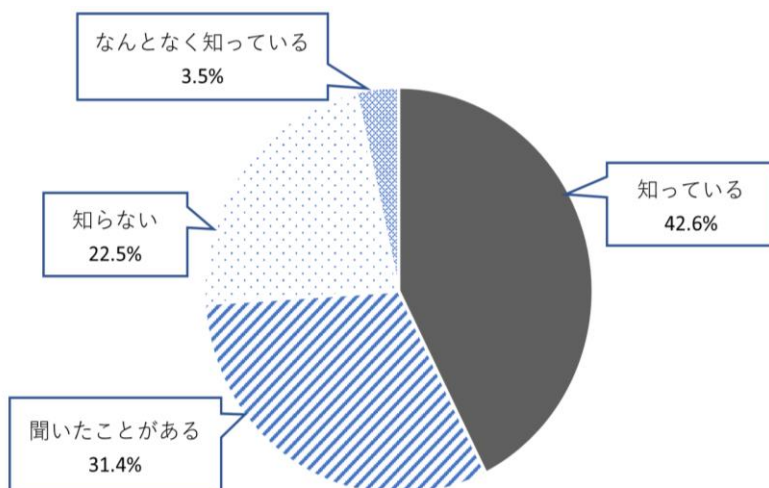
### 1. アンケート結果

対象者：ひたちなかブロック34施設 保育士700名

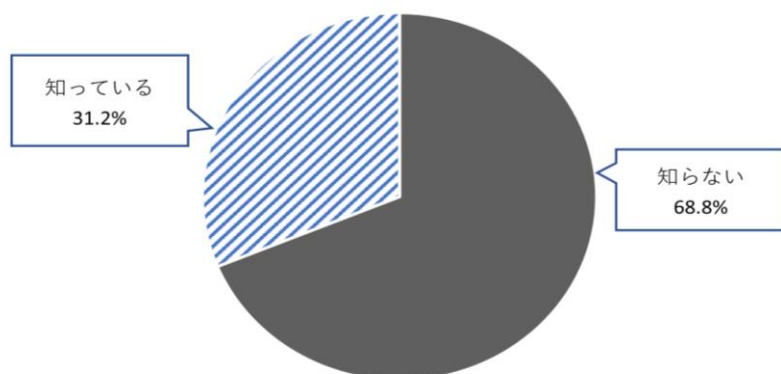
回収率： 404名（58.1%）

調査期間：令和3年11月10日～令和3年11月30日

問1 あなたはSDGsを知っていますか？



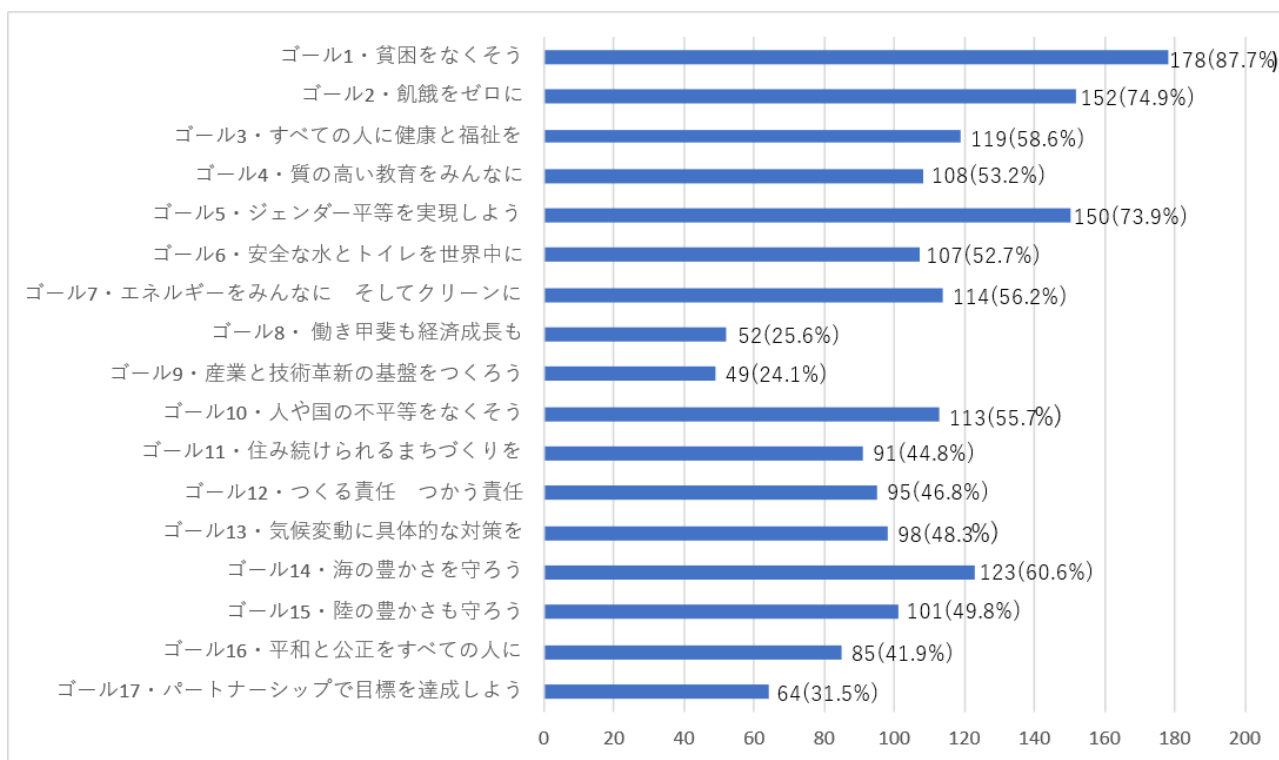
問2 ゴールが17個あるということを知っていますか？



《考察》

アンケートを実施した結果「聞いたことがある」「知らない」という人が半数以上、ゴールが17個あるということを知らない人が約7割を占めていることから、SDGsについて詳しく知らない人が多いという結果が分かった。

### 問3 知っているものにチェックしてください



#### 《考察》

ゴールが17個あるということを知っていると答えた中で回答が多かった順が  
 ①「ゴール1・貧困をなくそう」②「ゴール2・飢餓をゼロに」③「ゴール5・ジェンダー平等を実現しよう」という結果が得られた。全てのゴールを知っている保育士は少ないことが分かる。

**1** 貧困をなくそう



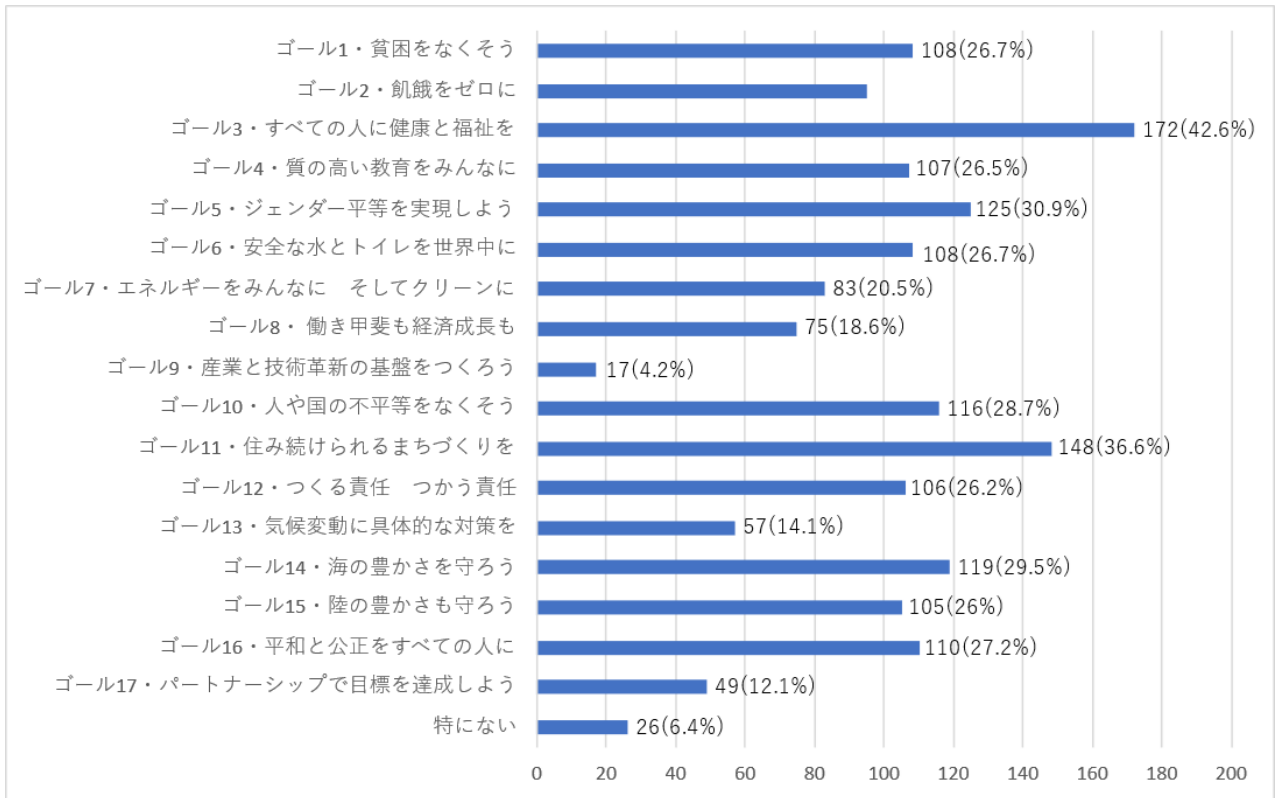
**2** 飢餓をゼロに



**5** ジェンダー平等を実現しよう



#### 問4 個人で取り組んでみたいものはありますか？



#### 《考察》

個人で取り組んでみたいものでは、①「ゴール3・すべての人に健康と福祉を」  
②「ゴール11・住み続けられるまちづくりを」③「ゴール5・ジェンダー平等を実現しよう」  
という結果が得られた。保育士という、置かれている環境で取り組みやすそうなものに関心があることが分かった。

**3** すべての人に  
健康と福祉を



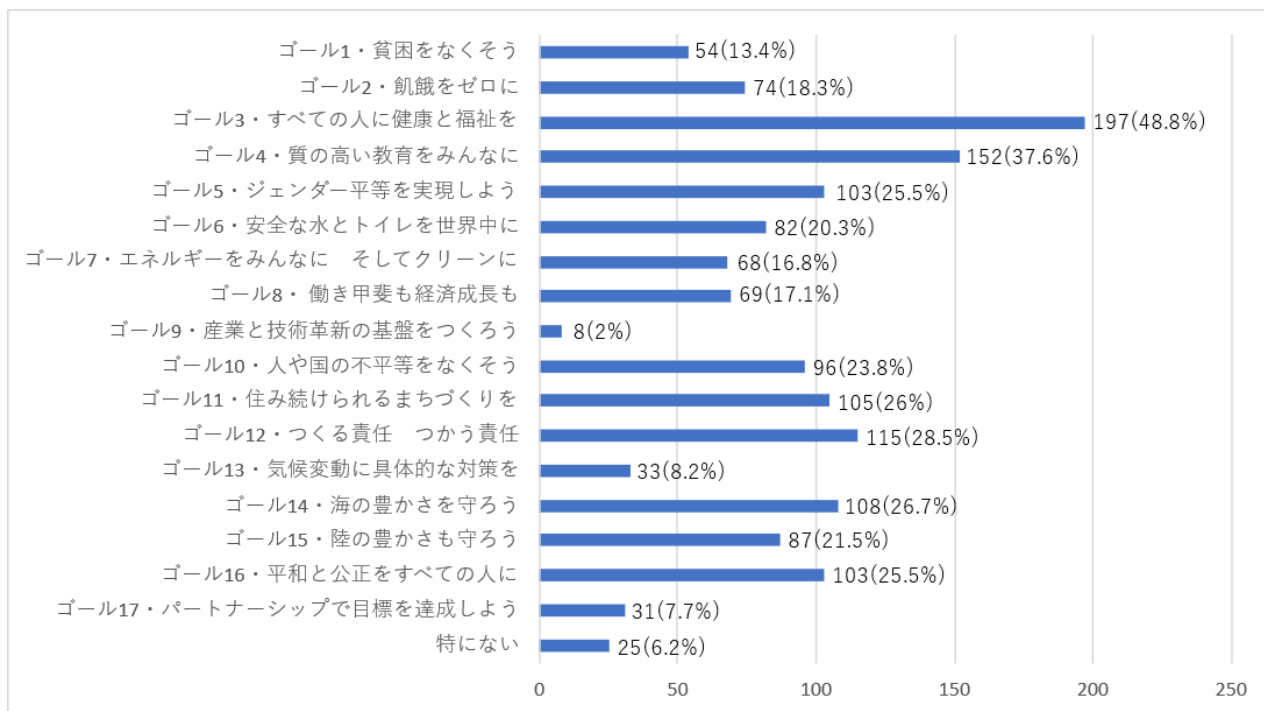
**11** 住み続けられる  
まちづくりを



**5** ジェンダー平等を  
実現しよう



問5 保育園で取り組んでみたいものはありますか？



《考察》

保育園で取り組んでみたいものでは、①「ゴール3・すべての人に健康と福祉を」  
②「ゴール4・質の高い教育をみんなに」③「ゴール12・つくる責任 つかう責任」  
という結果が得られた。

アンケートの結果の中で関心が高く、保育園でも子どもたちと一緒に取り組めそうな、  
ゴール11とゴール12を実施していくことにした。

**3** すべての人に  
健康と福祉を



**4** 質の高い教育を  
みんなに



**12** つくる責任  
つかう責任



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

## V 実践と考察

### 実践記録①

#### SDGsって何だろう？

子どもの姿	絵本などを用いながら世界の海について子どもたちに話をした。現在問題になっている環境汚染を取り上げ、SDGsについても少しずつ興味関心が持てるよう取り組み始めたところである。		
ねらい	SDGsは身近な場所から考え、行動できる目標。そのためにも、まずはSDGsを正しく知って理解する。そのうえで行動に移すことが大切であると考え。今から積極的に自分でSDGsに関わっていくことで、2030年の世界をより素晴らしいものに変えていくことに繋げたい。		
日時	主な活動(環境構成を含む)	子どもの姿	保育者の動き
7月9日 9:30～ 13:15～ 15:00～	<p>●SDGsについての説明 《3才児クラス対象》</p> <p>《4, 5才児対象》 各クラス毎に実施</p> <p>(担当者主動)</p> <p>●各クラスにおいて</p> <p>①SDGs17項目についての説明を聞く</p> <p>②保育園内でできることを考え話し合う</p> <p>③話し合いで出た場所にSDGs17項目のステッカーを貼る</p> <p>(クラス担任主動)</p> <p>④クラスで園内SDGsスタンプラリーに取り組む</p>	<p>・SDGsについての説明を聞く(年齢別)</p> <p>・項目毎に指さし確認しながら話を聞いていく</p> <p>・何ができるか考え、それぞれ発表する</p> <p>・他の子の意見を聞く</p> <p>・それぞれどの項目に当てはまるのか考える</p> <p>・先に話していた内容もふまえながら、楽しくスタンプラリーに参加する</p>	<p>・SDGs17項目の説明</p> <p>・保育園に貼ってあるSDGsステッカーの紹介(水道、トイレ)</p> <p>・スタンプラリー表の説明</p> <p>・SDGs17項目シートを配布する</p> <p>・項目を指さし確認</p> <p>・写真パネルを見ながら、意見を出した場所にSDGsシールを貼る</p> <p>例) 電気スイッチ付近、ごみ箱、水道等</p> <p>・園内SDGsスタンプラリーシートをもとに、今日の振り返りをする</p>
7月10日	<p>●各家庭にて</p> <p>⑤家庭版のSDGsスタンプラリーカードを持ち帰り、各自取り組む</p>	<p>・園で行ったSDGsデーの話をしながら各家庭で楽しく取り組む</p>	<p>・園内でのSDGsスタンプラリー取り組みを保護者に周知(アプリ配信)</p>
<p>《考察》</p> <p>子どもたちのSDGs17項目への興味関心を引き出すため、事前にSDGsステッカーを園内のいろいろな所に貼ると、とても効果が見られた。</p> <p>SDGsを身近に感じてもらえるように「身近なことからはじめよう」と、保育園でできること・家庭でできることをスタンプラリーにしたことで、子どもたちもスムーズに取り組むことができた。写真パネルを見ながら、自分たちができることは何かを考える時間はとても有意義であった。</p>			





年長児へのプレゼント ～廃油でキャンドルを作ろう～

子どもの姿	これまで園内でもSDGsに取り組み、水や食べ物、資源の大切さを知った。その上で、自分たちには何ができるのか考え、日常生活で少しずつ実践しているところである。		
ねらい	廃油の処理の仕方によって、どのような影響があるのか知り、リサイクルする。		
日時	主な活動(環境構成を含む)	子どもの姿	保育者の関わり
3月1日 10:00～ 10:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>●廃油について話を聞く               <ul style="list-style-type: none"> <li>・処理の仕方</li> <li>・どんな影響(世界の様子)</li> </ul> </li> <li>●では、その廃油をただ捨てるのではなく、どんな活用方法があるか考えよう！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃油はどんな風にできるのか、処理の仕方、世界の現状からどんな影響があるのかなどを知る</li> <li>・他国の様子を見て知り、地球の置かれている状況(危機)を感じ取る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネルなどを使って分かりやすく廃油について伝えていく</li> <li>・地球の置かれている現状をみんなに知らせ、このままではみんな(子どもたち)が大人になる未来にも悪い影響があるという危機感を感じ取れるように訴えていく</li> </ul>
3月4日 10:00～	<ul style="list-style-type: none"> <li>●廃油でキャンドルを作ろう！ 《作り方》               <ol style="list-style-type: none"> <li>①油を温める →園で出た廃油</li> <li>②クレヨンで着色</li> <li>③凝固剤を入れる</li> <li>④キャンドルの芯(タコ糸)を設置する</li> <li>⑤③で作ったロウを流し込む</li> <li>⑥完成</li> </ol> </li> <li>●まとめ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段捨ててしまう廃油を活用、リサイクルすることで、廃棄される量が減り、川も世界もきれいになる</li> <li>・手作りキャンドルを広めよう！！</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃油でキャンドルを作る</li> <li>・作業の中で、できることを行う</li> <li>・今回の取り組みが、世界に繋がっているということを知る</li> <li>・手作りする楽しさ、作り方を周りと共有する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作り方を説明する</li> <li>・火の扱いもあるので、危険のないよう見守り、一緒に作っていく</li> <li>・子ども達でもできる作業を探し、キャンドルを作る体験ができるようにする</li> <li>・今回の取り組みが、また次へ、周りへ繋いでいけるよう話をする</li> <li>・子ども達の声を拾い、できることがあれば次の実践へと繋げる</li> </ul>
<p>《考察》</p>			
<p>キャンドルを作る前に子どもたちに廃油をどのように処理するか問いかけていくと、「ペットボトルに入れて処分する」「また料理に使う」等、各家庭で行っている様々な処理方法があがった。</p> <p>担当職員が取り組みについて話を進めていくと、廃油を再利用することが「リサイクル」だけでなく、「リユース・リデュース(3R)」にも繋がっていることに気づくことができた。</p> <p>作ったキャンドルを年長児にプレゼントするというので、感謝や喜びを共有することもできた。</p>			



コンポスト


子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な分を考えて使うなど、身近なことから心がけて行動する姿が見られる。</li> <li>保育者の声掛け等で気づくが、その時だけで継続できない子もいる。</li> <li>コンポストや植物の成長については知識がほとんどない。</li> </ul>		
ねらい	捨ててしまう食べ物から肥料になる仕組みを知り、段ボールコンポストで肥料を作る		
日時	主な活動(環境構成を含む)	子どもの姿	保育者の関わり
3月12日 10:45～ 11:20	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンポストの仕組みを説明</li> <li>●段ボールコンポストを作る (準備物) ・段ボール・腐葉土・米ぬか ・番重・水・バケツ</li> <li>①腐葉土、米ぬかをそれぞれ触ったり匂いを嗅いでみる</li> <li>②番重の中で腐葉土と米ぬかを混ぜる (様子を見て水を加える)</li> <li>③基材を段ボールに移す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンポストについての説明を聞く</li> <li>・グループ毎に番重を囲むように座る</li> <li>・保育者の説明を聞きながら進める</li> <li>・腐葉土と米ぬかの違いを感じる</li> <li>・楽しみながら手で均等に混ぜていく</li> <li>・中には触るのを嫌がる子もいる</li> <li>・バケツを使用し、グループ毎に協力しながら段ボールに移す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が見える位置で説明をする</li> <li>・調理の時に出る野菜の皮等で肥料が作れる事を話す</li> <li>・一人ひとりが参加できるように道具の数を多めに用意しておく</li> <li>・腐葉土と米ぬかを別の容器に入れてグループ毎に配る</li> <li>・触ることを嫌がる子には、保育者が隣で行って様子を見せたり誘いかけていく</li> <li>・水の加減が難しいので、保育者が様子を見て加える</li> <li>・子ども主体で動けるように協力する姿を見守り、必要に応じた助言をしていく</li> </ul>
<p>《考察》</p> <p>自分たちで作った肥料を野菜作りで使用できると理解し、驚きや喜ぶ様子が見られた。肥料を作るだけでなく、実際に野菜を育てる活動まで期待を寄せていた。</p> <p>コンポストの基材作りでは土に触れ、生き活きとした表情が見られた。実際に体験することが子どもたちにとって学びになった。</p>			



## コンポスト②

子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段ボールコンポストの作業に積極的に参加し、土の変化に気づいたりしている。</li> <li>・最初は手が汚れることを気にして触りたがらない子も、何度も繰り返し経験する事で抵抗なく取り組んでいる。</li> </ul>		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にできるSDGsとして、ゴミの削減に取り組もう。</li> </ul>		
日時	主な活動(環境構成を含む)	子どもの姿	保育者の関わり
3月14日～ 4月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンポストの中に野菜くずや米ぬかを入れ、混ぜる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前に混ぜた野菜がまだ残っていることに気づく子もいる</li> <li>・「玉ねぎみたいな匂いがするね」「ちよっとくさい」等と言ったり、抵抗を感じる子もいる</li> <li>・スコップを使い、土と野菜くずをしっかりと混ぜる</li> <li>・コンポストの底の方を混ぜるのが難しい様子</li> <li>・どんな野菜を育てるか、楽しみにする様子が見られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンポストの中を見て、どんな風になっているか、匂いはどうか、子どもたちに問いかける</li> <li>・子どもたちの応答に対し、共感したり、疑問に答えたりする</li> <li>・野菜くずを混ぜることで、栄養のたくさん含まれた肥料になることを伝えていく</li> <li>・おまじないをかけて楽しい活動にすると共に、みんなで作った肥料を使い、野菜作りをする活動への期待を持たせる</li> </ul>
4月27日～ 5月27日	※一か月の熟成期間に入る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一週間に一度、コンポストの中を混ぜる</li> <li>・どのような変化があるか観察する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような変化があるか、子ども達と観察していく</li> <li>・子どもたちの気づきに共感していく</li> </ul>
<p>《 考察 》</p> <p>捨てられる野菜の皮等が再利用できることを知り、関心を持って取り組みながら土の匂いや温度の変化等に気づく経験をすることができた。</p> <p>「捨てるのはもったいない」「残さないで食べるよ」と、少しずつ子どもたちの意識に変化が感じられ、残食も減った。</p> <p>子どもたちの取り組みを保護者に向けて写真等を掲示する事で、家庭でもSDGsについて話すきっかけになった。今後も定期的に活動の様子を伝えていくことで取り組みの輪が広がることが期待される。</p>			

## ラディッシュを育てよう

子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の牛乳パックのプランターを用意したり、野菜の本を読んだりしながら、次の活動を楽しみにしている。</li> <li>・コンポストが熟成期間に入って携わる回数が減り、関心が薄れている子もいる。</li> </ul>		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の生育に関心を持ち、世話をしながら収穫への期待を膨らませる。</li> </ul>		
日時	主な活動(環境構成を含む)	子どもの姿	保育者の関わり
5月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分の牛乳パックプランターを用意しよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の名前を書く</li> <li>・「たくさん育てたい!」「おいしい野菜を作る!」と、種まきを楽しみにする姿が見られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの気持ちを共有し、これからの活動へと繋がるような言葉をかけていく</li> </ul>
5月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ラディッシュを育てよう</li> <li>・コンポストの肥料と土を混ぜる</li> <li>・プランターの中に土を入れる</li> <li>・種を蒔き、水をかける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手で均等になるように番重の中でしっかり混ぜる</li> <li>・混ぜながら分解できなかった野菜を発見する</li> <li>・土の量を加減しながらプランターに丁寧に土を入れる</li> <li>・種を手にとって色や形を観察する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンポストの肥料を使うことを伝えると共に、これまでの取り組みを振り返れるような言葉を投げかける</li> <li>・コンポストの野菜がどうなっているのか問いかけてみる</li> <li>・種の蒔き方や水のかけ方を伝え、様子を見守る</li> </ul>
6月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プランターの水やり・観察</li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のプランターに水やりを行う</li> <li>・発芽に気づき、興味を持って観察する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種蒔きした後と変化があるか子どもたちに問いかけて十分に観察していくよう働きかける</li> <li>・発芽が見られない子に対しても、楽しみに待てるような声掛けをする</li> <li>・葉が大きくなって次は実ができることに期待を持たせる</li> </ul>
6月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ラディッシュ持ち帰り</li> <li>※各家庭で水やりや収穫を楽しむ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さな実が出来ているものもあり、喜ぶ姿が見られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実が出来た喜びを子どもたちと共感する</li> </ul>
<p>《考察》</p> <p>個人のプランターがあったことで、自分の育てた野菜という思いが強くなったようだった。野菜の小さな成長も子どもたちは気づき、その発見を喜ぶことができた。実際に育て持ち帰ることで家庭においても関心を寄せたり、コミュニケーションのきっかけとなった。保育園での取り組みを発信することにも重要な役割を感じた。</p>			



### 《全体的考察》

子どもたちと一緒に取り組む前に、保育者がどこまでSDGsを知っているのかを把握するために、まずは、アンケートを実施した。その結果、ほとんど保育者が知らないということが分かった。また、アンケートの中で、「17個のゴールのうち取り組みたいものは何か」を調査したところ、福祉や教育に関する目標に関心があることが分かり、その中で、今回の研究では保育園で取り組みやすい、「ゴール11・住み続けられるまちづくりを」と「ゴール12・つくる責任 つかう責任」の2つを研究テーマとして、進めていくことにした。

まずは、子どもたちにSDGsを身近に感じてもらえるよう、日常生活でよく目にするマークや、自然環境についての話をするところから始めた。子どもたちからは“このマークって何だろう？”という声も上がるようになり、自然環境が汚染されている現状を知っていくことで興味を深めていくことができた。子どもたちの興味が深まったところで、次は実際に子どもたちが行動することを目標に企画し、保育園でも子どもたちと一緒に取り組めるような活動を実践していった。実践していく中で、ダンボールコンポストで肥料を作り、育てた野菜を家庭に持ち帰ったり、親子でキャンドル作りをする園もあつたりと、保護者にもSDGsについて発信することができた。

## VI まとめ

「SDGs って何だろう？～これからを生きる子どもたちのために明るい未来を～」のテーマで取り組んできた。

各園で計画を立て「ゴミ拾い」や「分別」等、園でできる簡単なものから実施していった。始めはSDGsと聞くと「難しい」という印象を受け、「どうやって取り組んでいったらいいのか」と悩んだり、不安があったりしたが、学んでいくうちにゴミ拾いや分別をしたり、廃材を使って遊んだり、実はこれまでに何気なく園内で行っていたこともSDGsに繋がっていたということが分かった。保育者にとってSDGsは取り組みやすいものという意識へと変化していった。

絵本やステッカーなど視覚的に呼びかけることで、子どもたちにも日常生活の中で「ご飯を残したらもったいない」「(資源を)大切にしよう」という思いが芽生えたり、「家庭でできるものはないか？」という声も聞かれたりした。そこで、自分たちで身近なエネルギーの消費を減らすにはどうしたらよいかを考えたところ、普段廃棄してしまう油を使っての「キャンドル作り」や、残食を使った「肥料作り」に挑戦していった。家庭内においても、園で行っているSDGsについて、子どもたちから発信されることで保護者を巻き込む姿も見られた。しかし、意識が薄れていくと、持続することの難しさも感じた。子どもたちに呼びかけるだけでなく、保育者が楽しみながら取り組んでいくことで子どもたちも興味を持って無理なく継続することができた。

クラスみんなでの取り組みや、更には家庭を巻き込んだ取り組みにまで発展できたことは一つの成果となった。ゴール11・12のテーマに取り組んだが、最終的には他のゴールにも繋がっている、ということに気が付くことができた。資源を再利用することで、みんなが嬉しい気持ちになる・笑顔になる(=明るい未来につながる)ことを実際に経験できたことは今後大きく影響するだろう。

今回の研究で、SDGsには身近に取り組めるものがたくさんあるということに気が付くことができた。これからも子どもたちと一緒に考え、実践し、保育園や家庭において、日常生活の中で根付いていけるように、それぞれの園が工夫し、引き続き研究を進め共有していきたい。



考えよう！ 未来のために、未来のこと。

名前

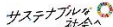
# SDGs アイデアシート



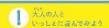
いま、どうして世界が  
大きく変わってきているんだろう？  
これからも、ずっと書らしつづければ  
社会をつくるためには、  
どうしたらいいだろう？  
このシートは、みんなの意見をヒント。  
子どもといっしょに話しながら、  
自分たちでできることを考えてみましょう。  
ずっとつづいて未来のために。



© 2019 Benesse Corporation. All rights reserved. 株式会社ベネッセコーポレーション



## STEP 1 サステナブル/SDGsって知ってる？



「サステナブル」ってなんだろう？  
サステナブルとは、英語で「ずっと続けられる」という意味。  
「サステナブルな社会をつくる」とは、いつまでも人間が住み続けられるようにすること。  
そのために、自分だけでなく、自然や生き物、いろいろな国の人とともに考えなくてはならない。

### どうして「サステナブル」な社会について考えなきゃいけないの？

#### 地球で暮らす人の数がどんどん増えてる！

いま、地球の人口はめまぐるしく増えています。でも、資源や食糧を無限に増やしてはダメ。自然や生き物、いろいろな国の人とともに考えなくてはならない。

#### 自然がどんどんこわされてる！

自然は人間のために、人間は自然のために生きています。自然がなくなると、人間も生きていけません。自然を大切に守らなくてはならない。

#### 便利な暮らしが、地球をあたためちゃう！

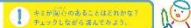
便利な暮らしは、地球をあたためちゃう。地球が暖かくなると、自然や生き物、いろいろな国の人とともに考えなくてはならない。

### そこで生まれたのが、世界の目標「SDGs」

そんな世界を解決しようとするのが、2015年に決まった「SDGs」(エスディージーエス)です。2030年までに達成しようとする17の目標です。



## STEP 2-① 世界や日本の問題を知ろう



SDGsで定められた目標は17個。  
それぞれに解決が必要なのが  
たくさん起きています。

1 **貧乏** 貧乏をなくそう  
世界には、お金がなくて、食べ物や住居が足りない人がたくさんいます。みんなが豊かにならなくちゃいけない。

7 **SDGsクイズ** 世界の10人に1人が、1日のごはんや食料を...  
A. 3人 B. 5人 C. 10人

2 **温暖化** ごはんを毎日食べられない人をなくそう  
温暖化で、ごはんがとれない人が増えています。みんなが豊かにならなくちゃいけない。

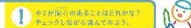
3 **健康** ずっと健康に生きていけるようにしよう  
病気や怪我で、ずっと健康に生きていけるようにしよう。

4 **教育** だれもが教育を受けられるようにしよう  
学校に行かなくていい人が増えています。みんなが豊かにならなくちゃいけない。

5 **SDGsクイズ** 世界の10人に1人が、17歳の子どもが...  
A. 3人 B. 5人 C. 10人

5 **ジェンダー** 家の人や女の子も、男と平等に働こう  
家の人や女の子も、男と平等に働こう。

## STEP 2-① 世界や日本の問題を知ろう



SDGsで定められた目標は17個。  
それぞれに解決が必要なのが  
たくさん起きています。

1 **貧乏** 貧乏をなくそう  
世界には、お金がなくて、食べ物や住居が足りない人がたくさんいます。みんなが豊かにならなくちゃいけない。

7 **SDGsクイズ** 世界の10人に1人が、1日のごはんや食料を...  
A. 3人 B. 5人 C. 10人

2 **温暖化** ごはんを毎日食べられない人をなくそう  
温暖化で、ごはんがとれない人が増えています。みんなが豊かにならなくちゃいけない。

3 **健康** ずっと健康に生きていけるようにしよう  
病気や怪我で、ずっと健康に生きていけるようにしよう。

4 **教育** だれもが教育を受けられるようにしよう  
学校に行かなくていい人が増えています。みんなが豊かにならなくちゃいけない。

5 **SDGsクイズ** 世界の10人に1人が、17歳の子どもが...  
A. 3人 B. 5人 C. 10人

5 **ジェンダー** 家の人や女の子も、男と平等に働こう  
家の人や女の子も、男と平等に働こう。

## STEP 2-③ 世界や日本の問題を知ろう



12 **資源** 資源をムダにせずくろう、使おう  
資源をムダにせずくろう、使おう。

7 **SDGsクイズ** 日本では、食べられないで死んでいる動物が...  
A. 10匹 B. 20匹 C. 30匹

13 **気候** 気候の変化による影響を少なくしよう  
気候の変化による影響を少なくしよう。

14 **海** 海の自然と海の生き物を守ろう  
海の自然と海の生き物を守ろう。

15 **陸** 陸の自然と生き物を守ろう  
陸の自然と生き物を守ろう。

7 **SDGsクイズ** つぶやうち、動物の骨が...  
A. 10匹 B. 20匹 C. 30匹

10 **平和** 争いや暴力のない平和な世の中を  
争いや暴力のない平和な世の中を。

17 **パートナーシップ** 目標のためにみんなで力を合わせよう  
目標のためにみんなで力を合わせよう。

## STEP 3 未来を想像し、できることを考えよう



これまでのステップで、サステナブルやSDGsについて知り、世界や日本について見えてきました。  
このシートでは、実際に未来について想像しながら、未来のためにできることを考えてみましょう。

1. どの目標が、いちばん気になった？  
2. どうして気になったの？  
3. 未来を想像するとき、どんな未来にしたいの？  
4. 未来のためにできることはなんだろう？

いま、今日からできることをはじめよう。未来をつくるのは、みんなだから！

参考文献 『考えよう！未来のために、未来のこと。SDGs アイディアシート』 Benesse

『わたしたちのやさしいいちにち ちきゅうのためにできる10のこと 2』  
メラニー・ウォルシュ

『未来を変えるメッセージ みんなのSDGs』 水谷孝次&MERRY PROJECT

『もったいないばあさん かわをゆく』 真珠 まりこ

『うみの100かいだてのいえ』 いわい としお

《共同研究者》

那珂湊第一保育所	黒澤 海（発表者）
那珂湊第二保育所	五十嵐 美優
はなのわ保育園	道野 祥子
たんぽぽ保育園	後関 由香
たかば保育園	砂川 愛
なかや保育園	三宅 愛
金上保育園	柳下 和江
海の子保育園	浦浪 知里
あずみの森保育園	豊田 幸江
みぎわ保育園	小河 紗也香
おおぞら保育園	石橋 清美